

# ほふ HOFU

# しぎかい 市議会

# だより No.71

令和5年11月15日

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <https://www.city.hofu.yamaguchi.jp/site/sigikai/>

E-Mail [gikai@city.hofu.yamaguchi.jp](mailto:gikai@city.hofu.yamaguchi.jp)

## 意見交換会を開催しました



小野地域自治会連合会との意見交換会（小野公民館）

8月7日に「少子高齢化が進む地域が抱える課題（公共交通手段の改善）」をテーマとして、小野地域自治会連合会との意見交換会を行いました。

公共交通（路線バス・タクシー）のあり方については、議会でも特別委員会を立ち上げるなどして、長年に渡り取り組んでまいりましたが、なかなか課題解決に結びつかない現状があります。

その中で、小野地域が活性化協議会を立ち上げ、危機感を持って課題解決に取り組まれている状況をお聞きし、議会からの意見もお伝えする中で、改めて議会としてこの問題にしっかりと取り組んでいかなければならないと感じました。

いただいたご意見を今後の議会での議論の中に活かしていきたいと思っております。

## 山口県市議会議員研修会が開催されました

8月4日に下松市において、第24回山口県市議会議員研修会が開催されました。東北大学大学院情報科学研究科准教授の河村和徳先生を講師に迎え、「議員のなり手不足と地方議会改革」をテーマに、ご講義をいただきました。

研修はオンラインで開催され、各市議会を会場にしたほか、自宅等から受講しました。



## 9月定例議会

- 議案の概要 ..... P2～P3
- 一般質問 ..... P4～P9
- デジタル推進調査特別委員会 ..... P9
- 各決算特別委員会からの報告 ..... P10

- 各委員会所管事務調査 ..... P10～P11
- 議会モニターからの意見 ..... P11
- 12月定例議会の予定 ..... P12



議会中継がスマートフォンで見られます! [防府市議会](#) 🔍



# 令和5年 9月 定例議会

9月定例議会は9月4日から9月29日までの会期26日間の日程で開催されました。

市長から「防災について」「人手不足への対応について」の行政報告があり、令和5年度一般会計補正予算をはじめ、財産の取得、工事請負契約の締結など議案12件、推薦1件、報告10件、認定2件を審議しました。

主な議案等と審議経過の概要についてお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は、P3をご覧ください。

## 予算

### ■令和5年度一般会計補正予算

6億1,990万円を増額し、補正後の予算総額を571億9,590万円とする予算案が提出され、可決されました。主な事業は次のとおりです。

#### ・災害対策関連事業（早期着手が必要）

7月豪雨により被災した河川、道路、文化財の復旧工事を実施するとともに、きめ細かな降雨情報を把握するため、新たに雨量計を設置します。

（1億2,900万円）

雨量計設置箇所：富海公民館、小野公民館、大道公民館



防府天満宮大専坊跡の被災

#### ・市内事業者等生産性向上設備導入緊急支援事業

物価高騰や人手不足に対応するため、生産性の向上につながる設備の導入に取り組む市内事業者等を支援します。（1億円）

補助率：対象事業費の2/3

補助額：上限100万円

#### ・運転手確保緊急対策事業

喫緊の課題である2024年問題に直面し、運転手の確保に取り組むトラック事業所等を支援します。（3,000万円）

支援金：運転手一人当たり20万円

※新たに採用し免許を取得させる場合は一人当たり30万円  
対象期間：令和6年3月末まで（令和6年4月採用を含む）



#### ・子ども医療費無償化対応事業

子ども医療費助成制度の対象を「小学生まで」から「高校生まで」に拡充するため、資格情報等を管理するシステムの改修を行います。医療費無償化の開始時期は、令和6年10月からを予定。（400万円）

#### ・小・中学校トイレ洋式化事業

令和7年度までに全ての小・中学校のトイレ洋式化を行うこととし、令和5年度は、小学校1・2年生分の整備を行います。（4億5,600万円）



#### ・インボイス制度相談体制の充実

10月から導入されているインボイス制度に対応する相談窓口をコネク22に設置し、税理士等による相談を受け付けます。（100万円）

## 人事

### ■人権擁護委員候補者の推薦

再任 やまだ 山田 さよ さん  
新任 にしだ 西田 あきこ 明子 さん

## 決算

### ■令和4年度一般・特別会計決算

### ■令和4年度上下水道事業決算

いずれも賛成多数で認定されました。

詳細はP10をご覧ください。（賛否No.1、2）



# Q&A

# 一般質問



9月定例議会では、16名の議員が市政について質問しました。

ここでは議員本人が要約した質問と答弁の一部を発言順に掲載しています。また、12月に会議録を製本予定ですので、市役所1号館1階閲覧コーナー、防府図書館、ホームページで見ることができます。

各見出しに掲載されている二次元バーコードから、各議員の一般質問の様子を録画映像でご覧いただくことができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。



会議録はこちら



旅客運輸業界のドライバー不足解消について  
Jアラート発令時、国民保護法に基づく市の取り組みについて

梅本 洋平（自由民主党）



**問** タクシー業界やバス業界においてはドライバー不足による減便が全国的に拡大している。それに加え「物流の2024年問題」により、さらなるドライバー不足が予想され、これにより交通手段の減少が起これば市民の皆様の生活にも大きな影響を及ぼし、市の発展を阻害すると感じている。ご所見を伺う。

**市長** 生産年齢人口の減少や働き方の変化などの原因により人手不足は深刻な状況。各業界からも切実なご意見をいただいている。各施策にも影響を与える可能性もあるため、何としても来年4月までに運転手を確保しなければならぬという強い思いから運転手

雇用を支援する補正予算を本議会に提出した。人手不足対策に早急に取り組むため、商工会議所等と対策を協議する会議体を設置し、一丸となって進める。

**問** Jアラートが発令した場合、市民の安全を守るために市はどのような取り組みを行っているか。

**市長** 防災及び危機管理は市政の最重要課題。北朝鮮のミサイル発射、ロシアによるウクライナ侵略などが国は重大かつ差し迫った脅威にさらされている。Jアラートが発令された場合、防災行政無線や防災ラジオ等により迅速かつ確実に伝達する。近くの頑丈な建物に避難するなど身を守るための行動が重要。初動対応について5月31日に抜き打ち参集訓練を行うなど備えている。11月には防災セミナーを開催する。学校・地域にも積極的に出向き、改めて危機意識についてブッシュ型で伝えていく。



人手不足対策  
浸水被害を防ぐための雨水対策

河村 孝（公明党）



**問** 2024年問題の運送業や建設業。保育士や介護職の福祉分野、高齢化が進む医療分野等、人手不足が幅広い分野で深刻化。本市の人手不足対策は。

**市長** 緊急的に補正予算を上程。さらに、新年度予算編成で、大きな柱の一つに位置づけ、商工会議所、ハローワーク、企業の会議体を9月中に発足し検討する。

**問** 未来を見据えた人手確保のため、ソラールに地元企業の展示コーナー設置等、キャリア教育の充実を。

**教育長** 企業のご協力による展示を含め、検討する。

**問** この夏の大雨により、市内複数箇所道路の冠水や浸水被害が発生。該当の住民の方は、対策をひたす

らに待っている。浸水被害を防ぐための雨水対策は。

**上下水道事業管理者** 広範囲に及ぶために、令和6年度までの予定で、雨水管理総合計画の策定を進め、優先度が高い排水区から、雨水ポンプ場の更新等ハード対策に取り組む。また、令和7年度に内水ハザードマップを作成し、市民に周知を図る。

**問** 向島小田地区で発生した県道の土砂崩れ対策は。

**市長** 9月下旬から本格的な復旧工事を行い、今年度中に完成予定。

**問** 今回も冠水した小徳田アンダーパスの雨水対策は。華城公民館に近く、近隣住民への影響が大きい。

**市長** 公民館に通じる大切な道路なので、しっかりと安全対策に取り組む。冠水時には、車両進入を未然に防ぐ新たな周知方法を検討する。



防災力のさらなる強化について、防府市農業公社の今後の在り方について、介護保険の認定申請について

宇多村 史朗 (自由民主党)



**問** 本年6月末から2週続けての大雨により、向島小田地区の一時孤立状態等が報道された。今後の防災力の強化については如何か。

**市長** 河川カメラシステムの充実強化、防災リーフレットの刷新等、防災への啓発を強化する。雨量計を富海、小野、大道の各公民館へ設置する。

防災拠点の整備に取り組む。

消防職員を、内閣府の防災担当部門へ派遣、研修させ、防災対策の強化を図る。

**問** 本年4月に「農林業の知と技の拠点」が供用開始された。防府市農業公社は、牟礼地区に移転し連携す

るのが良いのではないか。

**市長** 保安全管理や農作業受託、ドローン分野で連携することができることから、拠点近くの牟礼地区に移転する計画を図りたい。

**問** 介護認定申請から認定までの流れについて周知するとともに、ケアマネジャーの選定について、本人・家族の意向が十分反映された運用が重要と考えるが如何か。

**健康福祉部長** 認定申請について、わかりやすい説明を、市のホームページに掲載している。要支援から要介護になった時のケアマネジャーの選定についても、地域包括支援センターの職員と居宅介護支援事業所のケアマネジャーが丁寧な引継ぎをしている。



今後の財政運営について  
公民館の整備について

上田 和夫 (自由民主党)



**問** 中期財政見通しでは、安定した財政運営が示されているが、国の子ども政策や物価高騰などの状況変化に伴う、今後の考えは？

**市長** 持続的な財政運営は、歳出の適正化を図り、積極的な財源確保や税源涵養<sup>かんよう</sup>に繋がるまちづくりをする。また、国のこども対策に併せ、子ども医療費無償化の対象を高校生まで拡充し、小・中学校のトイレ洋式化も今後3年間で集中的に取り組む。このため国には地方に十分な財政措置がされるよう要望する。予算編成は国・県等の補助金や助成金を確保し、市債発行では交付税措置のある有利な地方債を活用し、財政調整基金残高20億円

以上を確保することにより、安定的な財政運営に努める。

**問** 公民館の整備については、地域の実情を総合的に勘案し、検討するとのことだが、現時点での考えは？

**市長** 公民館は地域住民の生涯学習や防災の拠点、また、地域のまちづくりや交流活動等の拠点として重要な役割を担っている。このため市内15箇所全ての公民館を存続させる。そして建築後60年を目安に、施設の老朽化の状況に応じ、大規模改修、改築等を検討し、全ての公民館を対象に管理計画を策定する。なお、中関公民館については市内で一番古く、老朽化が著しい状況にあるので、改築を視野に次期総合計画に位置付けられるよう取り組んでいく。

中関公民館



防災・防犯カメラ設置の推進について！  
◆市が管理する施設について！

山田 耕治 (絆)



**問** 防災・防犯カメラ設置に対する市の考えは？

**市長** 市民が安心して生活できるように、市の役割として、必要と判断した箇所には、積極的に設置を進めたい。

**問** 小・中学校での不審者情報とカメラ設置台数は？

**教育部長** 不審者情報は3件、防犯カメラは合計82台。

**問** 防犯カメラに対する条例制定や補助金の検討は？

**市長** 個人情報に関する法令もあることから、ガイドラインを策定したい。また、補助金については考えたい。

**問** 安全安心なまちにするためにも条例は必要では？

**市長** 地域における防犯カメラの設置は時代の要請。県警の補助制度も含めて考えたい。

**問** 河川等防災監視システムのページと、潮位のページをリンクさせれば、利便性の向上が図れるのでは？

**市長** 要望のように、新たにカメラ画像の連携を行う。

◆市が管理する施設について！

**問** 青果市場は、トラックステーション等の多目的利用も含めて、今後は考えるべきでは？

**産業振興部長** 補助金適正化法の制限で、直ちには難しいが、長期的視点に立ち、有効活用を検討している。

**問** メバル公園隣接の旧せり場の活用と改修を？

**市長** 老朽化から安全性を配慮し、個別の貸し出しを行っている。改修については関係団体の意見を聞き、検討が必要と考えている。

**問** 防府地域職業訓練センターの施設整備は？

**産業振興部長** 今後もLED化を行うなど、計画的な改修を行い、利用者に満足していただけるように努める。



**地域に飛び出せ！  
社会貢献職員応援制度(仮称)の創設について**  
石田 卓成 (日本の再独立を目指す会)



**問** 市職員の中で、自治会役員や各種公益団体、有償ボランティア、農業や漁業などの一次産業、スポーツ少年団や部活の指導など、公益に資する活動を行っている職員の数を人事課で把握しているのか。

**市長** 社会貢献活動に参加した職員数は、年々増加しており、令和3年度が150人、令和4年度が200人、令和5年度が現時点で、220人となっている。

令和5年度の主な内訳は、自治会関係が70人、ボランティア活動が60人、各種公益団体が30人、スポーツ少年団と部活関係が11人となっている。

**問** これらの活動は、地域とのコミュニケーション能

力の向上や、市役所全体のイメージアップにも繋がり、様々な仕事を進めていく上で大いに役立つと考える。今後、更に増やしていくためにも、全国各地の具体的な取り組み事例を、職員に周知して欲しいがいかがか。

**市長** 市職員が地域活動やイベント等で中心となって活動している地域もあり、大変嬉しく思っている。地域活動への参加は、防府愛を育み、職員力の向上が期待でき、業務の遂行能力が高まり、魅力あふれる防府のまちづくりにも繋がることから、今後、職員に対し、先駆的な活動事例等を周知し、更なる参加を促進していく。

**問** 全国の事例にもある、一次産業のアルバイト等を認めてはいかがか。

**市長** 制度的に問題なければ検討していきたい。



**市役所のDX推進について  
アウトドアツーリズムについて**  
橋本 龍太郎 (自由民主党)



**問** DX推進における生成AI(人工知能)に対する市の考えは？

**市長** 国のAI戦略会議の議論を注視する。県が実施する生成AI実証に若手職員を参加させ検証する。また市職員は市民の立場に立ち、市民と一緒に心で仕事をすることが求められている。安易にAIに頼ることなく、まずは自ら考える力を磨く職員になるように人材育成と資質向上に努める。

**問** 教育分野でのDX推進と現状の課題は？

**教育長** アナログをデジタルに置き換える第一段階から、デジタル技術をふさわしい状況で使いこなす第二

段階に進んでいる。現状の課題解決として、最適な授業づくりを目指して教職員の研修を重ねている。タブレット端末の故障、破損、機種更新などの対応が増加。また情報量の増加に伴う高速通信環境の整備が必要。

**問** アウトツーリズムについて、今後、キャンプ場として利用可能な施設は？

**市長** 小野水辺の楽校、サイクリングターミナル、メバル公園などでキャンプやオートキャンプ場の設置ができないか幅広く検討する。アウトドアマップの作成に取り組む。また民間事業者の取り組みに際しては、地域に根差した施設となるよう、需要が高まったアウトドアツーリズムを強く推進する県ともしっかりと連携して取り組む。



**道路整備に伴う、華城小学校周辺のまちづくりについて**  
藤村 ことえ (自由民主党)



**問** 華城小学校西側の道路拡幅工事に伴って、現在、小学校グラウンド内にある留守家庭児童学級は向かいのJA敷地内に移転となる。また今後、華城小学校改築の際には仮設校舎も必要となることが予想されるが、周辺整備の在り方について、整備方針と、進捗状況について伺う。

**市長** 都市計画道路松崎植松線の延伸と、市道小徳田野地線(華城小西側の道路)の拡幅を令和10年度の開通を目指し、来年度からの用地買収の準備を進めている。華城小学校は児童数が急増しており、校舎改築までの間、敷地内にプレハブ校舎を建設して対応する。将来の校舎改築の際の仮設校舎も児童の安全を考え、

現在の学校敷地内に建設する。留守家庭児童学級は令和7年4月の供用開始に向け、来年度工事を実施する。華城地域は市の中心部に位置し、交通の要衝であり、道路整備や小学校の改築、近くに公民館もあり、子どもたちが多く集まる安全・安心な場所となる。そこで、鞠生町にある「子育て世代包括支援センターまんまるほうふ」をこのエリアに移転させ、新たな子育ての拠点とし、妊産婦期から子育て、すべての子どもに寄り添った支援を行う「こども家庭センター」を令和7年1月の開設を目指し設置する。JA建物を有効活用し、子どもの遊び場等も整備する。拠点周辺を「子育てゾーン」とし、華城地域の活性化にもつなげていきたい。



**がん対策について**

村木 正弘(公明党)



**問** 労働人口が減少し、経済的余裕を失っていく中、予防可能なリスク要因に起因するがんの経済的負担を減少させていくため、がん検診を受診する人を増やすことが重要と考えるが市としての考えを伺う。

**市長** 市民ひとりひとりが生涯を通じて健康で、いきいきと活動できることが大切であると考え。市内には、がん医療の拠点でもある県立医療センターもあり、移転、建て替えにより将来にわたって市民の安心が確保されている。検診のウェブ予約の導入等にも取り組みたい。

**問** がん検診の必要性の周知のため、検診ガイドを配布しては如何か。

**健康福祉部長** 受診率向上に有効と考えられるので、市民にとって分かりやすい検診ガイドを来年度の受診に合わせて準備したい。

**問** 胃・肺・大腸・乳・子宮頸がんが一度に調べられる総合がん検診の予約枠を増やしては如何か。

**健康福祉部長** 希望する人が一人でも多く受診できるように県予防保健協会と調整し、増やしたい。

**問** 医療機関での肺がん検診は出来ないのか？

**健康福祉部長** 全国と同様、がんで亡くなられる方の部位別1位が肺がんであるにも関わらず市の実施する肺がん検診は伸び悩んでいる。専門医の確保など課題が多くあり、まずは現行の集団検診のPRをしっかりしていきたい。

**問** 男性へのHPVワクチンの接種費用の助成をしては如何か。

**健康福祉部長** 今後の国の動向を注視し対応する。

**黒字額で国民健康保険料の引き下げを  
留守家庭児童学級の抜本的拡充を**

田中 健次(市民クラブ)



**問** 国民健康保険事業特別会計は、10年以上黒字基調で、10年間に基金等は9億4千万円プラスになっている。他市より高い保険料の引き下げに、毎年の黒字相当額9,400万円を活用すれば、4人世帯で1万2千円以上の引き下げが可能となるか？

**市長** 保険料は平成20年度以降据え置き、黒字分は基金に積み立て、19億円となった。しかし、少子高齢化に伴う人口減、医療費の増加が見込まれ、令和6年度以降赤字になると試算しており、基金を活用して保険料を上げないようにしたい。

**問** 留守家庭児童学級は、希望者が定員を超えるか、

定員ぎりぎり、待機児童もおられる。国が6月に公表した「こども未来戦略方針」などの動きに呼応して、留守家庭児童学級を計画的に抜本的な拡充を進め、待機児童の改善をすべきでは？

**健康福祉部長** 高学年では待機児童が発生している小学校もある。全国的な課題で、受け皿の拡大が求められており、国の協議の進展や各小学校の状況を注視し、検討する。

**その他の質問項目**

◆公文書管理条例の制定を

◆新庁舎移転に際して、重要な公文書、歴史的な公文書が失われないようにすべきだ

**学校給食費の無償化を**

清水 力志(日本共産党)



**問** 市ホームページの生活保護制度に「生活保護の申請は国民の権利です」と掲載してはどうか。また「生活保護を受けたいと考えておられる方は、次のような努力をして下さい」の項目に、市民から「威圧感を感じる」と意見を頂いた。この際、削除してはどうか。

**健康福祉部長** 生活に不安を持つ方が相談しやすいよう、誤解を生まない表現に改めた。

**問** 自衛官募集事務に係る個人情報の提供について、現在はどのように対応しているか。

**市長** 令和2年度までは住民基本台帳法に基づく閲覧対応だったが、3年度から紙媒体で提出している。

**問** これまで何名分の個人情報を提出したのか。

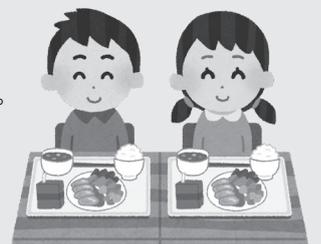
**総務部長** 令和3年度から5年度まで3千余人。

**問** 情報提供の法的根拠や情報提供を希望されない方に対する対応など、広く市民に周知するべきでは。

**総務部長** 来年度に向けて、ホームページで周知する。

**問** 政府の「異次元の少子化対策」を踏まえ、学校給食費の無償化について、政府の指示を待たずに市独自での実施を真剣に考えるべきでは。

**教育長** 人件費などは市が負担し、支払いが困難な世帯には全額を助成している。無償化に必要な予算は5億1千万円で市独自での実施は困難。今後は国の動向を注視する。





**中学校部活動の地域移行！大改変！  
今まで通りなの？負担増？移動手段？**

松村 学（防府一番）



**問** 部活動の地域移行により、先生の部活動引率がなくなり、民間指導者が地域クラブを原則担当し、生徒数減で希望の部活ができないから、統合するというが、指導者報酬や経費を保護者が負担することになり、統合した後、自転車で行けない地域は保護者が送迎するか交通費が負担増になり、現在90%以上の子供たちが部活に励んでいるが、できなくなるのでは？

**教育長** 令和7年度末までに地域クラブの移行を目指していく中で、保護者の負担軽減となるよう活動場所は学校施設を使用し、国県の支援方を踏まえ支援していく。統合後も生徒の居住地を考慮した編成を検討する。



**防災について  
移動支援について**

和田 敏明（正論）



本年6月30日から7月10日までの降雨時の避難情報や指定避難場所の開設状況等にいくつかの疑問点があった。

**問** 6月30日から7月1日にかけての降雨に対し、市の防災メールでレベル3（高齢者等避難）が通達されないまま、突如レベル4（全員避難）が通達されたのか。

**市長** 気象台からレベル3情報が得られなかったため。

**問** 7月1日のレベル4での指定避難場所の開設は15カ所だった。しかし7月8日のレベル3では40カ所が開設されていた。この開設状況の違いは、どのような理由により生じたのか。

**総務部長** 対応の違いは、長雨による土砂災害への警戒レベルの差。（答弁が理解不明。）



**社会全体で子育ての応援を！  
性的少数者への理解増進を！**

高砂 朋子（公明党）



**問** 子連れの方が安心して施設利用やイベント等へ参加できるよう、優先的な取り扱いや配慮を持ってお出かけを支援する「こどもファスト・トラック」の取組は。

**市長** 子育て世帯に対する思いやりの意識が醸成されるよう、新庁舎での整備やこどもファスト・トラックが広がるよう呼びかけていく。

**問** 本庁舎のこども家庭課相談支援係と保健センターの「まんまるほうふ」の機能の一体化を図り、新たな「こども家庭センター」の設置することについては。

**市長** 子育て世帯への相談・支援機能を強化するため、「こども家庭センター」を華城J A跡地に設置し、地域・

**要望** 国県が支援する話はないので、特にひとり親家庭などの生活困窮者には、経済的都合で子供たちが部活動できないことがないように暫定的に市で支援して欲しい。

**問** この件を現在でも知らない人が多いが更なる周知は？保護者会などを通じて全保護者に説明と意見を聞くべきでは？先日行ったアンケート調査の結果も保護者や子供たちにも理解を広げるため、公表すべきでは？

**教育長** 本年、小学4～6年生、中学1、2年生の保護者にリーフレットを配布し、アンケートも実施した。今後、保護者会等で説明会を実施し、アンケート結果については9月中にホームページで公表する。

**要望** 中学校の部活動はほとんどの生徒が参加し、社会性や人間形成など成長過程で重要な活動であり、希望する部活に弊害なく、子供たちが笑顔で参加できるよう、市教育委員会の特段のご配慮をお願いします。

**問** 本来、レベル3の発令時には、すべての指定避難場所の開設がなされることになっているが、このような状況では市民はどこに避難すればよいのか判断できない。

**総務部長** 反省し改善したい。

**要望** 各自治会に出向き、避難行動等の説明会を行うよう要望。

本市の高齢者等バス・タクシー運賃助成制度では、特にタクシー利用は運賃の2割引で、日常生活で利用するには高額で使いつらい。また、令和2年からのタクシーの運賃改定により約18%の運賃値上げとなり2割引の効果がなくなっている。

**問** 利用者の実情に見合った生活支援となる助成割合に見直すべきでは。

**市長** 運転手不足対策を最優先したい。

**意見** 移動支援を推進することで利用者が増え、バス・タクシーは収益を上げることができ、その他の経済効果も期待でき、健康寿命を延伸することで福祉予算の軽減にもつながる。

親子の交流機能や情報発信の機能も図り、子育てに関する様々な情報を分かりやすく発信していく。

**要望**

①親の就労の有無に関わらず保育所等を利用出来る「こども誰でも通園制度」への対応を。

②子ども達が安心して使える公園トイレの整備を。

**問** 性的少数者への理解増進法が6月に施行。教育現場での対応は。

**教育長** 小中学校の教職員に理解を深める研修を実施。学校に子ども達が相談しやすい環境を整える事が大切。生活場面の些細な変化にも気づき、配慮、対応していく。

**問** パートナーシップ宣誓制度の導入は。

**健康福祉部長** 国の動向、県の検討状況を注視し、まずは、市独自の職員向けハンドブックを作成、研修を行い、理解を深めていく。



緊急通報装置事業は防府市が責任を持ち対応を！  
地域クラブ活動の保護者支援？学習塾にも支援？

三原 昭治(絆)



**問** 高齢者や障害者などを対象とした急病などの緊急時における通報対応システム「緊急通報装置」について、周知と今後の取り組みは。

**市長** 市広報やホームページ、民生委員やケアマネジャーを通じて周知を図っている。一方、防災ラジオに比べて申し込みが少なく、今後は対象者の家族にも周知を図り、設置を進めていく。

**問** これまでシステム内容の更新などは行ったのか。

**健康福祉部長** 更新などはしていない。

**問** 設置まで2か月以上かかるが、業者任せではなく、事業主の防府市が責任を持ってきちんと対応すべきだ。

**健康福祉部長** 対応していく。

**問** 地域クラブ活動推進事業の進捗状況は。

**教育長** 児童生徒、教職員、保護者のアンケート調査を実施。各種目の指導者選定などを進めている。

**問** リーフレットに、放課15時30分、練習開始16時とあるが、30分で移動可能か。また、移動は公共交通機関ともあるが、学校と学校のアクセス便はあるのか。

**教育長** 例え話で掲載した。

**問** クラブ費用の保護者負担に対して、支援をするとあるが、クラブに移行すれば完全民間事業となる。であれば、学習塾にも支援しなければならなくなると思うが。

**教育長** 国、県において支援について協議がされており、注視したい。

**問** クラブ移行は、絶対的なものなのか。

**教育長** 国の施策であり、令和7年度の実施を目指す。



三田尻中関港の更なる活性化について

安村 政治(自民党)



**問** 物流の拠点となる中関港の活性化にどのように取り組んでいくのか。

**市長** 市内の企業が将来にわたり防府の地で競争力を持って安定的に操業してもらうには、道路網とともに中関港の整備が必要だ。港利用の企業から大型船舶が接岸できる水深の深い3号岸壁の延伸の強い要望がある。相当な事業費、期間を要するため国の直轄事業でないと整備が困難で、要望活動が不可欠だ。国道2号富海幅員の完成のめどが立ち、要望を開始する時期になったと考えている。事業採択には、中関港の取扱量が最も大きな課題。取扱量はコロナ禍で一時落ち込んでいたが、昨年は

回復している。「物流の2024年問題」やカーボンニュートラルにより、陸上から海上輸送への転換が求められている。これらを追い風に、取扱量の一層の増加と新たに港湾を利用する企業を開拓するポートセールス等を進める必要がある。民間企業の主体的な取り組みが必要だ。

8月末には、防府商工会議所と勉強会を立ち上げた。1社でも多く参画していただき、国、県のアドバイスもいただきながら、中関港の現状把握や分析をしていく。その上で、民間を主体として行政も加わる協議会も発足させ、事業採択に向け、ポートセールス等の活動を本格化させる。市としては、中関港の整備や新しい道路網を生かし、産業戦略に取り組んでいきたい。来年度、産業戦略を転換するため、組織体制の見直し、強化を図る。



### デジタル推進調査特別委員会を開催

8月22日に委員会を開催し、本市のデジタル化に関する取組を把握するために、執行部からデジタル化推進の背景や現在の取組について説明を受けました。

主な質疑は、以下のとおりです。

**問** やまぐちDX推進拠点Y-BASE・防府サテライトの利用状況は。

**答** サテライトが設置された令和4年11月から令和5年7月までの9か月間で56件の相談件数があった。開設後、徐々に件数が増えている。

**問** 防府市は、マイナンバーに関する個人情報の紐づけ誤りによる国の総点検対象にならなかったが、今後、改めて総点検の必要があるか。

**答** 全国のマイナンバー紐付け実施機関に対し、紐付

け方法に関する調査が実施され、その結果、本市は適切な事務処理を行っていることから、総点検の対象とはならなかった。引き続き、しっかりと正確な事務を行う。

### ほうふオンライン窓口のページ



市ホームページに「ほうふオンライン窓口」を開設  
令和5年8月22日現在、82の手続きを掲載中

## 一般・特別会計決算特別委員会の報告

審査における質疑等の主なものは、次のとおりです。

### 一般会計

**問** 実質単年度収支が約7億3,000万円と大きな黒字となっているが、その主な要因は。

**答** 国の地方財政対策の活用や市税等の上振れなどの影響もあるが、主な要因は駅北公有地の売却など、臨時的な収入によるものである。

**問** 2030年までに設置可能な市有施設の50%に太陽光発電設備を設置するとされているが、達成できるのか。

**答** 設置可能な55施設の内、18施設は設置が完了している。今後19施設に設置する計画を立てており、達成の見込みである。

**問** 3歳児健康診査で、新たに視力検査が実施された

が、どのような成果につながったか。

**答** 39名の幼児が、再度、眼科による精密検査を受け、早期の治療につながった。

### 介護保険事業特別会計

**問** 介護予防・生活支援サービス事業はどの程度の効果があるのか。

**答** 主軸となる短期集中予防型サービスにおいて、192名が利用し、年度内に144名が終了され、そのうちの126名が介護サービスを利用することなく地域での生活に戻られ、効果があった。

一般会計では、行政手続きのデジタル化や行政改革による職員不足など、問題点が改善されないまま執行されており承認しがたいとの意見がありましたが、賛成多数で承認されました。

## 上下水道事業決算特別委員会の報告

「上水道業」水道給水戸数は49,904戸。令和3年度と比べ411戸増加しており、水道使用料の対象となる年間総有収水量は、1,166万㎡、令和3年度と比べ11万㎡減少している。決算では3億2,500万円の黒字だが、純利益は令和3年度と比べ1,800万円の減額となっている。将来の更新需要に備え、費用対効果の検証やダウンサイジングを検討するなど計画的な施設更新を行う。

「工業用水道事業」は3,420万円の黒字となっている。今後の需要や収支状況に留意しつつ、適正な投資水準による施設の計画的な更新等を検討する。

「公共下水道事業」は、処理区域内人口80,940人で、372人増加した。普及率は71.2%、前年度比0.5%増加しており1億1,531万円の黒字となっている。今後も事業を持続的に経営し安定的にサービスを提供するには、使用料の改定が必要な状況になる。

審査における質疑等の主なものは、次のとおりです。

**問** 昨年の決算特別委員会で「水道料金は、今後10年程度は据え置きの見込み」との答弁があったが、物価や電気料金が高騰を続ける中、見込みに変化があるか。

**答** 人件費なども上昇傾向にあり、10年の据え置きは厳しい状況。今後の情勢にもよるが、今後5年程度は運営できる。

**問** 使用料の改定について、市民への周知と理解について、どのように考えているか。

**答** 市広報やホームページにより、経営状況や事業内容等を掲載し、市民への周知、理解に努める。

上下水道事業決算では、当初予算審議の際に、平日夜間と休日に水道施設運転管理業務等が民間に委託されており、市民の基本的なライフラインを委託することに反対したが、その予算が執行されたものであり、決算認定について反対するとの意見がありましたが、賛成多数で承認されました。

## 総務委員会所管事務調査

7月13日に、第3次観光振興計画（令和3年度から7年度）について、執行部から、計画の進捗状況、コロナ感染状況に伴う対応、次期計画について説明を受けました。

主な質疑は、以下のとおりです。

**問** 計画には、テレビやSNSなど各種媒体を活用し、全国に向けた観光プロモーションをとあるが、どのように取り組んで行くのか。

**答** 人気番組での紹介の影響は大きい。今後、観光コンベンション協会、幸せますコンシェルジュ、地域おこし隊、インフルエンサーの方々、市広報戦略室の知恵を借りながら、あらゆる方策で積極的に発信していく。

**要望** まず、市民に防府の観光資源を好きになってもらい、PRしてもらうことが一番ではないか。市民無料開放等、思い切った方策をして欲しい。

**問** もっと、小・中・高の児童生徒に防府の良さを知ってもらうために、例えば遠足や社会見学等を活用してはどうか。

**答** 観光施設等での子ども向けのイベントについては告知している。

**問** 観光地の説明に、QRコードを活用しては。

**答** 今、準備をしているところ。多言語化への対応も検討を進めている。

**要望** 一人当たりの観光消費額が減少とのこと。原因を探り、改善策を練って欲しい。中高年層向け、若い人向け等、ターゲットを設定した広報をお願いしたい。

## 教育民生委員会所管事務調査

7月6日、今年開館25周年を迎えた青少年科学館ソラールを視察しました。ソラールは1988年4月開館。2021年には来館者120万人を突破、子どもから大人まで、身近な科学の楽しさを体験し、未来を創造する力と科学する心を育む科学館として市内はもとより、県内外から多くの来館者が訪れています。現状と、課題について市文化振興財団から、説明を受けました。

主な質疑は、以下のとおりです。

**問** 現在、特に力を入れて取り組んでいることは。

**答** 企画展は日本でここだけでしか見られないものを準備している。今年、ホームページをリニューアル。職員の顔が見える、ソラールの魅力が伝わるホームページにしたい。

**問** ソラールの建物の現況について。

**答** 空調の老朽化、光熱費の高騰に苦慮している。常設展示のマンネリ化に対しては、視点を変えた展示方法などで夏休みには子どもたちの来館が多い。

**要望** 毎年、春、秋は小学校の社会見学や家族連れの来館者が多いが、公園に日陰もなく、食事をする場所もないことが課題。東屋のようなものがあればよい。

開館25周年を記念して開催されていた特別展「食品サンプル展」は3ヶ月で22,000人を超える人気の展示会となりました。ご協力いただいた株式会社いわさきは食品サンプル業界トップの実績を持ち、その技術は食品サンプルだけにとどまらず、医療分野にも幅を広げています。



主な質疑は、以下のとおりです。

## 産業建設委員会所管事務調査

8月3日に、所管する準用河川、普通河川及び排水ポンプ場、令和6年度の完成を目指し策定中の雨水管理総合計画と、併せて策定する内水浸水想定区域図、今年度実施する11か所の河川等の改修や36河川の浚渫、防府飛行場周辺の洪水対策の概要等の説明を受けました。

今後も緊急自然災害防止対策事業債、緊急浚渫推進事業債などをしっかりと活用し、管理河川の計画的な改修をはじめ、浚渫などの適切な維持管理、防府飛行場周辺障害防止対策事業による洪水対策に取り組むとのこと。

委員からは官民一体となった冠水対策の取組などについての質疑や、頻繁に冠水する地域への対策の要望等がありました。

**問** 事業計画(雨水)について、事業計画区域周辺を含めた全体計画図はないのか。

**答** 計画策定時には既設水路の能力評価、上流からの流達時間、面積を考慮して策定しているため、周辺地域を含めた計画図はない。

**問** 7月の豪雨により市内で浸水した箇所は。

**答** 通報により15か所の浸水を把握している。また、石が口や新田地域は2、30ミリの降雨で恒常的に浸水している。

**問** 恒常的に浸水する地域住民への雨水排水路の整備状況等の説明は。

**答** 令和6年に雨水管理総合計画及び内水浸水想定区域図を策定後、内水ハザードマップを作成し、周知に努める。

## 議会モニターからの意見

モニターから寄せられた意見などの一部を紹介します。(内容は要約しています。詳しくは議会ホームページの議会モニターのページをご覧ください。)

通 信 内 容	市 議 会 回 答
ネット配信について発言者の氏名の表示はあるのですが、議長の指名から登壇の様子や所属会派の紹介等をテロップにして頂けたら、より市議会や議員が身近な存在に感じられると思いました。	所属会派名のテロップの表示につきましては、実施に向け調整してまいります。 中継画像やその他テロップにつきましては、状況をみながら必要な改善を図ってまいります。
議会中継ページには質問議員の発言内容や顔写真が表示されていて大変分かり易くて有難いと思いましたが、顔写真下部の議員氏名をクリックすると議員プロフィールの名前・フリガナ・会派と発言内容が表示されますが、発言内容は前ページにて表示済(同一文)ですので、後ページには質問議員の質問に至った経緯や調査された資料等を任意で掲示して頂いたら、視聴市民により分かり易くなると思いました。	貴重なご提案であると考えますが、議会中継ページの表示方法の変更に関して、システムの改修が必要であることから、今後の検討課題とさせていただきます。

# 議会日誌

## 9月

- 4日 9月定例議会開会  
議会広報編集委員会
- 6日 上下水道事業決算特別委員会
- 11日 本会議（一般質問）
- 12日 本会議（一般質問）  
会派代表者会議
- 13日 本会議（一般質問）  
議会運営委員会
- 19日 予算委員会（全体会）  
議会改革推進協議会
- 20日 常任委員会（総務・教育民生・産業建設）
- 22日 一般・特別会計決算特別委員会（総務）
- 25日 一般・特別会計決算特別委員会（教育民生）
- 26日 一般・特別会計決算特別委員会（産業建設）
- 29日 9月定例議会閉会  
会派代表者会議  
太陽光発電に関する条例検討協議会  
議会広報編集委員会



## 10月

- 10日 教育民生委員会（所管事務調査）  
議会広報編集委員会
- 16日 教育民生委員会行政視察（～18日）
- 19日 議会広報編集委員会
- 20日 太陽光発電に関する条例検討協議会
- 24日 総務委員会行政視察（～26日）
- 31日 産業建設委員会行政視察（～11月2日）

## 12月定例議会の予定

- 11月29日（水） 本会議（開会）
- 12月5日（火） 本会議（一般質問）
- 6日（水） 本会議（一般質問）
- 7日（木） 本会議（一般質問）
- 11日（月） 予算委員会（全体会）
- 12日（火） 総務委員会
- 13日（水） 教育民生委員会
- 14日（木） 産業建設委員会
- 19日（火） 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。  
なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。



詳しくは議会事務局までお問い合わせください。  
議会事務局 TEL (0835) 25-2182

## 編集後記

小野地域自治会連合会との意見交換会では、地域交通の必要性について皆様と熱く議論しました。議会は地域や市民と行政を結ぶパイプ役です。これからも、その声にしっかりと耳を傾けてまいります。

8月4日に山口県市議会議員研修会が開催されました。東北大学大学院准教授の河村和徳先生を講師に迎え、「議員のなり手不足と地方議会改革について」をテーマに、ご講義をいただきました。地方議員が置かれている厳しい現状や課題を把握しました。

今号で令和5年の議会広報編集委員会の任期が終了いたしました。市民の皆様からのアドバイスをお聞きし、少しでも見やすくなったのではと思います。またこの1年間の表紙は閉会中の議会活動を掲載しました。日々、開かれた議会を目指し、市民の皆様と意見交換など積極的に行っています。議会広報編集委員会として市民の皆様と理解が深まる紙面をさらに目指すよう次回委員にしっかり引き継いでまいります。



議会広報編集委員会（◎委員長、○副委員長）  
橋本龍太郎 藤村こずえ ○吉村祐太郎  
◎松村学 高砂朋子 安村政治